

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成30年12月13日（木）

【協議事項】

1 指定暴力団五代目工藤會の特定危険指定暴力団等としての指定期限の延長について (暴力団対策部)

警察本部から「指定暴力団五代目工藤會については、引き続き特定危険指定暴力団等の要件該当暴力行為を行うおそれが認められることから、指定期限を1年間延長するものである。御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「工藤會には、いまだに資金提供者がいるのか。また、暴力団組員等だけでなく、暴力団を利用しようとする者についても、更なる対策をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「工藤會に対するみかじめ料等の資金提供は、以前に比べれば減少しているものと思われるが、引き続き、事業者等への働き掛けを行い、資金遮断に向けた対策を推進していく。また、暴力団との共生者等についても、あらゆる法令を適用した検挙対策等を講じていく。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 平成31年福岡県警察年頭視閲の実施について

(警務部)

警察本部から「平成31年1月10日、福岡市博多区の福岡国際センターにおいて福岡県警察年頭視閲を実施する。式次第としては、部隊の分列行進、部隊点検、来賓挨拶等を予定している。式終了後は、同会場において「ふれあい広場」を実施し、パトカー・白バイの乗車体験、音楽隊ミニコンサート等を行う。」旨の報告があった。

公安委員から「例年、ヤフオクドームで開催されていたが、今後は、同所以外での開催となるのか。また、県民のための警察であることから、教育委員会等と連携して小中学生の観覧者を増やすなど、警察に対して親しみを持ってもらうとともに、規律の素晴らしさを知ってもらうための取組をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「今回は、ヤフオクドームの改修工事に伴い会場変更となったが、今後の選定については、開催日程や費用等を考慮しながら検討していく。また、本年は、小学3年生約120名が観覧予定であり、引き続き多くの方に観覧いただけるよう開催方法等を検討していく。」旨の説明があった。

2 平成30年管区優秀警察職員表彰受賞者の決定について

(警務部)

警察本部から「管区優秀警察職員表彰は、九州管区警察局長が、勤務成績が優秀で多大な功労がある者を表彰し、その功労を顕彰することによって、警察職員全体の士気を高めることを目的としたものである。平成30年は、本県警察官4名の受賞が決定した。」旨の報告があった。

公安委員から「受賞が決まった職員については、これまでの業績が認められた結果だと思う。今回、4名中2名が機動警察隊の職員となっているが、何か理由があるのか。」旨の発言があり、警察本部から「部内選考の兼ね合いから、今回は機動警察隊の職員2名が受賞することとなった。」旨の説明があった。

3 指名手配被疑者捜査強化月間の実施結果について

(刑 事 部)

警察本部から「11月1日から同月30日までの間、指名手配被疑者捜査強化月間を実施し、重要指名手配被疑者合計15人を検挙した。期間中の検挙好事例として、公開捜査による検挙や大阪市内における見当たり検挙等があった。」旨の報告があった。

公安委員から「強化月間は、全国一斉の取組なのか。」旨の発言があり、警察本部から「全国一斉の取組であり、国民の協力を得ながら集中的に追跡捜査を実施するというものである。」旨の説明があった。

4 2019年特殊詐欺検挙・抑止戦略について

(刑事部・生活安全部)

警察本部から「本年11月末の特殊詐欺被害の現状及び取組状況を踏まえ、2019年特殊詐欺検挙・抑止戦略を策定し、これに基づき、諸対策を推進していく。」旨の報告があった。

公安委員から「「だまされた振り作戦」については、被害者が報復等を恐れて捜査協力をためらうこともあると思うが、どのような対策を行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「まずは、被害者に対して丁寧な説明を行い、捜査への協力を求めているが、協力が得られなかった場合でも、様々な捜査手法を駆使して被疑者の検挙に全力を挙げている。」旨の説明があった。

公安委員から「特殊詐欺の被害は深刻な状況であるので、組織の総合力を発揮した対策の推進をお願いします。」旨の発言があった。

5 西警察署管内における死亡ひき逃げ事件の検挙について

(交 通 部)

警察本部から「西警察署及び交通捜査課は、12月11日、福岡市西区の市道上において、原動機付自転車と衝突したことにより車道上に転倒した被害者を轢過し、救護等の措置を講ずることなく逃走した死亡ひき逃げ事件について、糸島市居住のタクシー運転手の男性を過失運転致死等で逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「後続のタクシーの事故については不可避的なところがあるのではないか。タクシー運転手であれば、一般のドライバーよりも、事故発生時の措置に関する知識を有していたと思われ、大変残念な事案である。」旨の発言があり、警察本部から「事故が不可避であったか否かについては、今後の捜査で明らかにしていく。」旨の説明があった。

【その他の報告事項】

警察本部から「県議会12月定例会の代表質問については、国民民主党・県政県議団、緑友会及び公明党から質問が行われた。11日からの一般質問では、警察に対する質問はなく、14日に警察委員会が開催され、来週20日に県議会12月定例会が閉会する。また、14日は、博多安全安心決起パレード、来週18日は、北九州市における歳末特別夜警・「暴追の日」の出発式に出席する。」旨の報告があった。

